



栄光園だより
第102号

2016年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
振込口座 01930-2-20748

編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

児童養護施設で働くということ

児童養護施設 岡田豊弘

栄光園に入職し15年が経とうとしています。私にとって15年は大きな節目でもあり、私自身を振り返る意味でペンをとった次第です。

私は大学で学校教育を学びました。将来は、教師の道を進む人がほとんどの時代です。しかし、私は現在、児童福祉の現場にいます。大学在学中、児童相談所の一時保護所でのアルバイトを経験し、そこでさまざまな家庭事情により、親、家族と分離され、一時保護所で保護されている子どもたちと接したことで自分の将来が決まったというわけです。当時は就職超氷河期であり、諦めてはいませんが、神様からの思し召しでしょうか。当時住んでいた学生アパート

の郵便受けのポストに1通の求人ハガキを見つけたのです。差出は栄光園からでした。私はすぐに電話をかけ、面接をして頂けることになり、内定のはこびとなったのです。その当時の喜びは今でもはつきり覚えています。

栄光園での1年目はとにかく無我夢中でした。担当の子どもたちは、中学生男児5名、高校生2名の7名。今では考えられませんが、7名中5名は、親の顔を一度も見ることがない、親の記憶すらない子どもたちでした。産まれてすぐに乳児院に預けられ、親、家族と一度も会うことなく、児童養護施設に措置され、18歳になるとそのまま社会に出されてしまう

あけましておめでとうございます

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。
本年も相変わりにませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2016年 正月

- | | | |
|------------|------|-------|
| 社会福祉法人 栄光園 | 理事長 | 友永 丈一 |
| 児童養護施設 栄光園 | 施設長 | 江口 敏一 |
| 乳児院 栄光園 | 施設長 | 熊谷登喜子 |
| 青山保育所 | 所長 | 小久保次郎 |
| 野口保育所 | 所長 | 本庄 智宏 |
| | 職員一同 | |

子どもたちでした。当時はほとんどのケースがそういう状態であったのですが…。

「俺、親の顔見たことねーし」、「親なんかいらんし」、「こういった会話を私によくぶつけてきました。一番心が痛かった言葉は、「俺、たぶん親と一緒にいる夢を見るんやけどなー、顔は無いんよなー」でした。子どもたちは私を慕う反面、自分たちのことをどこまで考えてくれているのか、まだ見ぬ親と私を対照しながら、さまざまな問題を起すことで試し続けました。まさに『耐え忍ぶ』毎日でした。学校、警察からの連絡、それに対する謝罪は当たり前であり家庭裁判所からも度々よばれる日々で

した。よそ様に迷惑、施設に迷惑をかけたということで、子どもと一緒に謝罪することが私の日課にもなっていました。しかし、そんな子どもたちと対峙してもなぜか『怒り』というものはありませんでした。おそらく、「俺、親の顔、見たことねーし！」という言葉が私自身の中であり大きかったんだと思います。栄光園に勤務して2年目、担当の子どもA君が大きな問題行動を起こしました。少年院送致が決まり、最後の面会の時、彼は「絶対、迎えに来てよ！」と泣き崩れながら、私の腕を必死で掴んで離しません。迎えにいかれるかわからない私は無言のまま、彼と別れました。力強く握り絞めら

